

## 補助事業実施計画書（記入例）

事業計画名	飲食店〇〇と●●酒造のコラボによるペアリングメニュー提供
事業を実施する背景、課題及び必要性	20代や30代の若い世代の日本酒離れが進んでいる中、今後の日本酒の安定的な消費の維持拡大には、これらの世代へのアプローチが重要である。 若い世代に人気のある飲食店〇〇と蔵元がコラボすることにより、若い消費者と日本酒の新たな接点を創出する。
事業目的	飲食店と蔵元がコラボしたペアリングメニューにより、来店客に佐賀酒を体感してもらう機会を創出し、新たなファンの獲得に繋げる。
事業概要	飲食店〇〇と●●酒造が連携し、佐賀酒に合うペアリングメニューを考案。年末年始に期間限定で飲食店メニューに登場させる。 また、メニュー提供期間に合わせ、飲食店内において蔵元によるトークイベントを行う。
新型コロナウイルス感染症対策として工夫する点	手指消毒やパーテーションの設置等により感染拡大防止に努める。
定性目標	来店客に佐賀酒を体感してもらう機会を創出し、新たな佐賀酒ファンを獲得し、認知度向上及び販売促進を図る。
定量目標	※参加者数や売上金額等、当該事業の定量目標を記載してください。 参加者数 〇〇人 売上金額 〇〇円
補助事業の計画（具体的な取組・内容、事業の実施から完了までのスケジュール）	
9月～10月	ペアリングメニューの考案及び試作
11月～12月	メニュー表等の店内用資材の制作
12月～1月	広報の開始、ペアリングメニューの提供、トークイベントの実施
2月～3月	実績報告書作成